

平成29年度事業報告



1. 文化財の研究事業

文化財調査業務、保存処理業務等の中で課題となった問題点や、業務の過程で蓄積されたデータを基礎に、そこから生まれた着想、着眼点を発展させた研究活動や受託研究事業を行っている。

また、他機関との連携協力による研究活動など対外的な研究交流活動も積極的に進め、研究成果の還元は学会、研究会等での発表・報告、講演会等で行っている。

科学研究費助成事業

当研究所に所属する研究員は、科学研究費助成事業の出願が可能であり、個人・グループを問わず積極的に申請して文化財に関する研究活動を進め学会に寄与している。科学研究費は研究者に対する補助金であるが、その管理はその所属機関に任されている。また、助成事業の実施に伴う研究機関の管理等に必要な経費として、主要な科学研究費については直接経費の30%が科学研究費間接経費として機関に措置される。

平成29年度科学研究費の継続課題は、学術研究助成基金助成金によるものが6件、一部が学術研究助成基金によるものが2件ある。

新規に採択された課題は科学研究費補助金による課題2件、学術研究助成基金助成金による課題1件であった。

なお、学術研究助成基金助成金は研究期間全体の合計額で採択されるため、単年度の研究費は明記しない。

(1) 継続研究課題

<基金>

基盤研究(C)一般

「東アジアにおける甲冑の変遷と祭祀利用の実態解明に関する基礎的研究」

平成27～29年度 塚本敏夫 3,600千円(研究期間合計額)

「超微細気泡(ナノバブル)を用いた保存処理方法の構築」

平成28～30年度 山田卓司 3,700千円(研究期間合計額)

挑戦的萌芽研究

「ルビジウム-ストロンチウム放射壊変系による出土琥珀の産地推定」

平成28～30年度 植田直見 2,700千円(研究期間合計額)

若手研究(B)

「日本中世における戦死者供養の実証的研究」

平成27～29年度 服部光真 1,500千円(研究期間合計額)

「鏝情報に基づく戦後復興期消滅古墳副葬品配列の復元研究」

平成28～30年度 初村武寛 1,700千円(研究期間合計額)

「施釉陶器色調計測の基礎的研究」

平成28～30年度 田中由理 1,400千円(研究期間合計額)

<一部基金>

基盤研究 (B) 一般

「出土青銅製文化財の保存処理に使用されたアクリル樹脂の劣化について」

平成26～29年度 植田直見 13,300 千円 (研究期間合計額)

「日本中世における葬送墓制の総括的研究」

平成26～30年度 狭川真一 11,900 千円 (研究期間合計額)

(2) 新規研究課題

<補助金>

基盤研究 (B)

「出土木製品マイクロ波加熱凍結乾燥処理法の実用化研究」

平成29～32年度 川本耕三 13,700 千円 (研究期間合計額)

「海外文化財輸送技術との比較による日本の文化財輸送技術の発展に関する研究」

平成29～32年度 雨森久晃 11,600 千円 (研究期間合計額)

<基金>

「疑似出土木材の調製」

平成29～31年度 山口繁生 3,400 千円 (研究期間合計額)

2. 文化財の調査・整理事業

文化財調査研究グループ

人文科学分野

奈良市 ^{うほうざんじゅうりんいん} 雨宝山十輪院

歴史資料総合調査および寺史編纂事業

奈良市 法徳寺

法徳寺所蔵の旧松永コレクション (仏像) 調査
業務

奈良県桜井市 総本山長谷寺

文化財等保存調査事業

大阪市 四天王寺

境内所在石造物調査

大阪府泉南市

文化財総合調査

大阪府高槻市教育委員会

平成29年度高槻市立しろあと歴史館古文書史料
目録作成業務

大阪府松原市

市内文化財総合調査業務委託

香川県琴平町 ^{ことひらくう} 金刀比羅宮

平成29年度重要有形民俗文化財「^{こんびら}金毘羅庶民
信仰資料」修理関連調査業務

香川県

札所寺院の史跡指定に係る ^{いちのみやじ} 一宮寺文化財詳細調査

札所寺院の史跡指定に係る ^{ごうしょうじ} 郷照寺文化財詳細調査

札所寺院の史跡指定に係る ^{こんぞうじ} 金倉寺文化財詳細調査

愛媛県

四国へんろ世界文化遺産推進事業における札所
^{めいせきじ} (明石寺) の詳細調査 (その3)

寺院を対象とする継続的な総合調査事業として、長谷寺の文化財等保存調査事業では、古文書・古記録、聖教類、繊維製品、石造物、工芸品などについての調査・整理を実施した。十輪院の歴史資料総合調査は3年度目にあたり、境内石造物の悉皆調査及び魚養塚の測量調査を実施した。四天王寺境内所在石造物調査も3年度目にあたり、境内所在石造物及び亀井堂亀石、宝物館前石槽の調査を実施した。

また、松原市では融通念仏宗来迎寺の総合調査を実施した。

四国遍路札所寺院の文化財詳細調査は、建造物、石造物、絵画、工芸、彫刻、古文書・古記録、聖教等を対象とするものである。香川県では一宮寺、郷照寺、金倉寺の調査を実施して完了した。愛媛県では明石寺の調査の3年度目分を実施した。

泉南市文化財調査は、岡中共同墓地の石造物を対象として調査を実施し完了した。

考古学分野

香川県丸亀市	丸亀城跡（大手町地区）3・4次調査報告書作成業務委託
（株）やまぐち	石川土城遺跡発掘調査報告書作成業務
（株）井上地所	藤原京右京十二条三坊・石川廃寺発掘調査報告書作成業務
（株）松原興産	平安京左京九条三坊九町発掘調査整理報告業務
（株）プレゼンスコーポレーション	平安京左京六条二坊十二町発掘調査整理報告業務
（株）井上地所	藤原京右京十条三・四坊発掘調査業務
和歌山県有田川町	湯浅氏関連石造物調査業務
和歌山県高野町	平成29年度 高野山奥之院基礎資料整理業務
京田辺市郷土史会	京田辺市石造物実測・拓本調査業務

丸亀市丸亀城跡（大手町地区）3・4次調査出土資料は、平成18年度に当研究所が調査を行ったもので、5年間の継続事業として整理作業を受託している。今年度はこれまでの事業を集大成し、報告書を刊行した。

昨年度行った奈良県橿原市石川町での調査（石川土城、藤原京右京十二条三坊・石川廃寺）について、報告書を刊行した。藤原京・石川廃寺は推定山田道に沿った地点で調査を行い、7世紀の鑄造関連遺構と先行する整地層によって埋没する谷を検出した。石川土城遺跡は約1,300㎡の調査を行い、14世紀から16世紀の土豪居館を検出した。

発掘調査は3件の調査を行った。平安京左京九条三坊九町の調査では八条院の恒久住宅に付随する施設と考えられる空間を検出し、平安京初出土となるガラス製水滴など特殊な遺物が出土した。左京六条二坊十二町の調査では11世紀後半の貴族宅地を検出した。中でも景石と築山を配置した庭園を検出したことは特筆される。藤原京右京十条三・四坊では藤原京西三坊大路を検出しており、調査は継続中である。

和歌山県有田川町湯浅氏関連石造物調査業務では、鎌倉時代から南北朝時代の著名な武士団である湯浅氏に係る城郭の国指定史跡指定を目指した調査の一環として、関連する石造物の調査を行った。

高野山奥之院基礎資料整理業務は、国指定史跡高野山奥之院の保護活用のために、1980年代に作成された高野町教委所有の奥ノ院石造物調査カードを整理し、エクセルデータ化したものを、現地にて校正、確認作業を行い、併せて報告書作成に向けた基礎データを整理した。次年度以降に報告書作成作業を行う予定となっている。

京田辺市内石造物調査は、京田辺市郷土史会が地域力再生プロジェクト支援事業交付金を得て実施した京田辺市内主要文化財の記録化事業において、石造物部門の資料調査を行ったものである。

記録資料分野

国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市） 所蔵資料の状態調査

平成18年度より継続している国立歴史民俗博物館所蔵資料のコンディション調査は12年目を完了した。状態調査の位置付けに関しては館内で検討されてきたが、平成27年度は資料係り付けの業務として執行された。委託業務内容としては、引き続き現地調査員を駐在させての状態調査を継続し、「戦時期生活関連資料」および「移民関係資料」の調査を行った。また現地調査員は、歴博館内の実査（収蔵資料の所在確認）業務にも一部従事した。

保存科学研究グループ

（公財）大阪府文化財センター

大阪府立近つ飛鳥博物館（大阪府太子町） 所蔵大修羅の保存状態調査
出雲大社（島根県出雲市） 重文出雲大社境内遺跡出土品保存修理に伴う計測
京都府舞鶴市 舞鶴引揚記念館の環境調査・改善計画策定

平成9年度以来近つ飛鳥博物館の展示室内で大修羅の寸法計測や状態調査を継続している。部分的な補填材の経年劣化等は見られるものの概ね良好な状態である。

出雲大社境内遺跡出土心御柱3本について、保存処理中の変形・収縮を未然に防ぐべく定期的な寸法計測や重量測定を行ってきたが、処理完了・遺物返却に伴い報告書を作成した。

舞鶴引揚記念館では収蔵庫及び展示室における昆虫類生息調査を行い、昆虫類侵入に注意すべき時期等を明らかにして施設の改善点を提案した。

奈良市補助金事業 仏教民俗資料の収集調査

奈良市内における主要石造物の詳細調査を実施し、当方の『研究報告』に逐次掲載する形で公表を行ってきた。

平成29年度は、興福寺五重塔前にある石燈籠の台石を調査した。実測調査の結果、反花座に彫られた蓮弁の詳細な構造を把握することができ、基礎の中心近くに溜まる水を蓮弁間の一部を切り込むことで、意匠は壊さずに雨水を外へ排水できる構造になっていることが分かった。また、その先端で基礎石の上面に細い溝状の彫り込みを行って、排出された水はその溝を流れるような工夫がなされていた。小溝は屋外にあって露出する部分であり、このような所作がなぜ必要だったのか疑問であり、検討する必要がある。

なお、この成果は平成30年度に刊行する『研究報告2018』に掲載する予定となっている。

3. 文化財の分析事業

保存科学研究グループ

文化庁（島根県立古代出雲文化博物館保管）

国宝荒神谷遺跡出土青銅製品に係る分析

福岡県春日市

須玖岡本遺跡出土遺物の分析

熊本県熊本市

上代町遺跡群出土木製品の分析

大慈禅寺（熊本県熊本市）

重要文化財「梵鐘」の分析

岩手県陸前高田市

被災国登録有形民俗文化財等の生物汚れ・臭気測定

埋蔵文化財では、国宝神庭荒神谷遺跡出土銅剣の本格処理に際し、応急処理時に含浸されたアクリル樹脂の劣化について、赤外分光分析法・熱分解ガスクロマトグラフ質量分析法・ゲル浸透クロマトグラフィー法等による詳細な調査を行った。

また、福岡県春日市須玖岡本遺跡出土青銅製品について鉛同位体比測定による産地推定等の分析を、熊本市上代町遺跡群出土木製品について放射性炭素年代測定等の分析を行った。

伝世文化財では、大慈禅寺所蔵重要文化財「梵鐘」の真土（^{まね}鑄型に使う土）の分析を行った。

岩手県陸前高田市所蔵被災国登録有形民俗文化財（アマモ製腰みの）等について、保存修理に伴う生物汚れと臭気の測定を行った。

4. 文化財の保存修復事業

文化財調査研究グループ

記録資料分野

和歌山県立文書館	文書等補修業務（地土帳）
河内長野市	図書、引き札、染型紙の修復
高知県安芸市	県指定「五藤家文書」（絵図）の修復
高知県安芸市	「三十六歌仙図屏風」の現地処置
北海道立図書館	道指定「知里幸恵ノート」修復・レプリカ作製
和歌山大学	佐藤春夫資料の修復
舞鶴引揚記念館	ユネスコ世界記憶遺産登録資料の修復
徳島県鳴門市長谷寺	涅槃図掛軸の修復

文書・絵図類の修復は^{すまばのはう}漉嵌法を中心に進めており、和歌山県や安芸市などの修復を実施した。昨今需要が増大しているのが近現代資料の修復で、河内長野市の図書の場合は、金具除去と解体→脱酸（中和）処理→糸綴じ再製本という一連の作業工程が定着してきた。また、北海道立図書館所蔵の道指定文化財「知里幸恵ノート」は、長年の活用による表紙の破損やノート製本の糸切れなどがみられ、表紙の修復と再製本を行った。和歌山大学の研究費で脱酸処理および繕い等を行った「佐藤春夫資料」も原稿用紙や楽譜などの近現代資料である。また舞鶴引揚記念館所蔵ユネスコ世界記憶遺産登録資料は、多くが下級紙にガリ刷りという保存性が高いとはいえない素材の延命措置として脱酸・補強・再製本を行った。これらの近現代資料の分野では、保存科学研究室と連携し酸性紙の脱酸処理やインク書き資料の抗酸化処理などの安全な処理技法を確立すべく検討を進めた。

彩色資料では鳴門市長谷寺所蔵「涅槃図」掛軸の修復を行った。彩色資料は伝世および人文とも連携し業務の拡大を目指している分野である。

伝世資料分野

石川県能登町	重要有形民俗文化財能登内浦のドブネ保存修復業務
大慈寺（熊本市）	熊本市大慈禅寺所蔵梵鐘の修復
岩手県陸前高田市	登録有形民俗文化財「陸前高田の漁撈用具」保存修復業務
和歌山県和歌山市	名勝和歌の浦の主要構成要素不老橋の修復

能登町は、平成29年度から4カ年にかけてドブネ3隻を新収蔵展示施設への移動と現地修復作業、および船具類の研究所での修復などの事業を行った。途中増額の契約変更となり当初計画ではドブネ2隻の収蔵庫への移動だったものが、残り1隻を含めた全3隻の移動となった。

大慈禅寺梵鐘は、重要文化財であるが「平成29年（2017年）熊本地震」で被災し破損した為、平成29年度での修復を行い平成30年1月に返却を行った。地元では復興の成果として取り上げられた。

陸前高田市は、平成28年度に引き続き29年度も東日本大震災による被災資料陸前高田市立博物館所蔵の漁撈用具について保存処理を行い、研究所初めての大量複製資料の保存修復に取り組み一定の成果を見た。

国の名勝和歌の浦にある石造橋不老橋の老朽化が進み、平成28年度に続き上流側欄干部分の石材強化剤による強化及び修復を行った。

文化財調査研究グループ

出土木製品分野

出雲大社（島根県出雲市）	重要文化財出雲大社境内遺跡出土品の保存処理
福井県立若狭歴史博物館（小浜市）	重要文化財鳥浜貝塚出土品の保存修理
福島県会津若松市	重要文化財会津大塚山古墳出土品の保存修理
広島県立歴史博物館（福山市）	重要文化財草戸千軒町遺跡出土品の保存修理
愛知県清須市	清州城下町遺跡出土 ^{こぼらきょう} 柿 ^{こぼらきょう} 籠の保存処理
熊本県	^{そぼたかいづか} 曾畑貝塚出土植物性遺物保存処理

重要文化財の修理に関しては、平成23年度からおこなってきた出雲大社所蔵の重要文化財出雲境内遺跡出土の心御柱3本（鎌倉時代）他の保存処理が完了し、保管台とあわせて納品した。

また、平成28年度から継続していた福井県若狭町鳥浜貝塚（縄文時代）出土品の再修理や保管台の作製、会津若松市会津大塚山古墳（古墳時代）出土の^{こぼらきょう}轂の再修理および保管台と保管箱の作製、福山市草戸千軒町遺跡（鎌倉～室町時代）出土遺物の再修理をおこなった。

他に、清州城下町遺跡（室町時代）から出土した^{こぼらきょう}柿^{こぼらきょう}籠の保存処理や、平成3年度から平成6年度にわたり保存処理を行なった^{そぼたかいづか}曾畑貝塚遺跡（縄文時代前期）出土植物性遺物の再修理を実施した。

出土金属製品分野

文化庁（島根県立古代出雲文化博物館保管）	国宝荒神谷遺跡出土青銅製品保存修理
福岡県宗像大社	国宝沖ノ島祭祀遺跡出土金属製品保存修理
北海道 ^{えさし} 枝幸町	重要文化財北海道 ^{ぬなしごまり} 目梨泊遺跡出土品保存修理
広島県立歴史博物館（福山市）	重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品保存修理
文化庁（兵庫県立博物館保管）	重要文化財 ^{みいだに} 箕谷2号墳出土品保存修理
大阪府豊中市	重要文化財摂津豊中大塚古墳出土品保存修理
福岡県行橋市	重要文化財福岡県 ^{いなどう} 稲童古墳群出土品保存修理
東北学院大学	灰塚山古墳出土遺物の保存処理及び理化学分析
宮崎県えびの市	^{しまのうち} 島内139号墓出土品の保存修理

国宝の保存修理では、島根県荒神谷遺跡（弥生時代）出土銅剣（平成29年度から平成32年度まで実施予定）について修理を行った。

沖ノ島祭祀遺跡（宗像大社所蔵・古墳時代から奈良時代）出土金属製品の保存修理は、平成27年度からの継続事業の最終年度として作業を行った。

重要文化財では、北海道枝幸町目梨泊遺跡（擦文時代）出土品、広島県草戸千軒町遺跡（中世）出土品、兵庫県箕谷2号墳（古墳時代後期）出土品、大阪府摂津豊中大塚古墳（古墳時代中期）出土品、福岡県稲童古墳群（古墳時代中期）出土品などの保存修理を行った。

その他、東北学院大学・灰塚山古墳（古墳時代中期）出土品、宮崎県えびの市島内139号地下式横穴墓出土品の保存処理を行った。

土器・3D分野

文化庁（兵庫県立歴史博物館保管）	重要文化財兵庫県箕谷2号墳出土品保存修理
山形県	重要文化財山形県水木田遺跡出土品保存修理
鳥取県湯梨浜町	重要文化財伯耆長瀬高浜遺跡出土品保存修理
大阪府豊中市	重要文化財摂津豊中大塚古墳出土品保存修理
株式会社乃村工藝社	熊本市博改装施工業務
福岡県春日市	土製鋳型等レプリカ製作業務
宗教法人柿本神社	森狙仙筆「猿の図」のデジタル高精細複製製作

国の指定文化財の修理としては、昨年度から引き続いて兵庫県箕谷2号墳出土の土師器1点の保存修理や、山形県水木田遺跡出土の縄文土器4点の保存修理を行った。また、鳥取県湯梨浜町の伯耆長瀬高浜遺跡出土朝顔形埴輪等10点の保存修理や、大阪府豊中市の摂津豊中大塚古墳出土玉類の保存修理を行った。

他に、新潟市の西郷遺跡出土足形付土版の保存修理なども行った。

株式会社乃村工藝社より受託し、熊本市立熊本博物館の展示資料の保存修理、および展示用レプリカや演示具の製作を行った。

その他に、福岡県春日市の須玖タカウタ遺跡出土土製鋳型・石製鋳型のレプリカや、兵庫県明石市柿本神社所蔵の森狙仙筆「猿の図」のデジタル高精細複製の製作を行った。

また、当室では三次元計測等の事業も継続して行っており、平成29年度は昨年度から引き続いて国宝島根県荒神谷遺跡出土品の三次元計測及び保管台の改修事業を実施した。

5. 研究会、展覧会、講演会の開催及び開催支援事業

企画展の開催

春季企画展

『パラレルワークスー文化財の仕事にたずさわる芸術家達ー』

※(宗)元興寺と共催

開催期間 平成29年4月29日(土)～5月14日(日)

開催場所 元興寺 法輪館 入館者数 6,742名

元興寺文化財研究所ではたらく人々は、それぞれに特別な技量を持ち合わせている。それは様々な分野にわたっており、今回はそうした人たちの作品を並べ、修理・修復を支える影の力を紹介した。

また、関連企画として開催期間中の4月29日(日)に小村眞理と講師として「組紐」ワークショップを開催した。

夏季企画展(創立50周年事業)

『鎮物としての武器武具ー武具埋納祭祀の展開ー』※(宗)元興寺と共催

開催期間 平成29年9月2日(土)～9月24日(日)

開催場所 元興寺法輪館 入館者数 6,215名

古代の武器・武具は戦闘用としてのみ評価されてきた。しかし近年地震や噴火等の災害を鎮めるための祭祀や、建物の建造や廃絶のための祭祀に、武器や武具が鎮物(祭祀具)として用いられていたことが明らかになってきた。武器・武具による祭祀は、古墳時代から中世にかけて時代を追うごとにその手法を変えながら日本列島全体へ広まっていった。今回の展示ではこうした祭祀の展開を通じて、武器・武具にこめた日本人の精神世界に迫った。

秋季特別展(創立50周年事業)の開催

『文化財の仕事一筋 半世紀』※(宗)元興寺と共催

開催期間 平成29年10月21日(土)～11月12日(日)

開催場所 元興寺法輪館 入館者数 8,621名

元興寺文化財研究所は、あらゆる文化財の調査・研究、保存・修復など多岐にわたる仕事を手掛けて50年を迎えた。その50年の軌跡を振り返り各分野のかかわった仕事の成果を資料の展示を通してご紹介した。

記念講演会 開催場所 元興寺国宝禅室

「文化財の調査研究と新たな発見ー人文考古学の世界ー」

狭川真一 10月29日(日)

「文化財の保存修復と技術の進歩ー保存科学の世界ー」

塚本敏夫 11月12日(日)

文化講座の開催

元興寺文化財研究所の実践文化財学（創立50周年事業）

文化財の仕事に携わり、各分野の実践を通じて得た情報を元に研究へと発展させ、また保存修復技術に応用した成果を、各分野の担当者が講演を行った。

—講座編—（参加者総数 235 人）

5月20日（土）	「古材が語る元興寺の歴史」	狭川真一
6月17日（土）	「木製品の保存処理について」	大國万希子
	「樹種同定からわかっていくこと」	木澤直子
	「木製品の保存処理と関連研究」	山田哲也
7月15日（土）	「土器の保存修復について」	江野朋子
	「土器・陶磁器の伝統的修理技法」	角南聡一郎
8月19日（土）	「古代都城を掘る」藤原京	村田裕介
	「古代都城を掘る」平城京	佐藤亜聖
9月16日（土）	「武器埋納祭祀の具体相」	塚本敏夫
10月21日（土）	「伝世品をのこし、伝えるには」	雨森久晃
11月18日（土）	「金属製品の保存処理について」	尾崎誠
12月16日（土）	「紙資料の修復—出土炭化文書から絵図面の修復まで—」	金山正子
1月20日（土）	「文化財の自然科学的分析について」	川本耕三
2月17日（土）	「よみがえる都市寺院・福寺—地域調査からの再発見—」	服部光真

元興寺ならまち文化講座

狭川副所長による文化講座を（宗）元興寺と共催で計10回開催した。

4月14日（金）	元興寺の納骨信仰 —ならまちにおける極楽の入り口—
5月12日（金）	中世墓地の出現 —墓地の総供養塔を通じて—
6月9日（金）	発掘された中世墓の様相 —地域の有力者はどんなお墓を作ったか—
7月14日（金）	中世都市奈良における供養の場 —元興寺と街角の石塔・石仏の語り—
9月8日（金）	石塔・石仏の転用にみる中世墓の破壊 —石垣に埋め込まれた石塔は、征服の象徴か！—
10月13日（金）	経塚の考古学 —高野山奥之院出土尼法葉経塚を観る—
11月10日（金）	梵鐘の考古学—袋井市出土梵鐘を分析する—
1月12日（金）	梵鐘鑄造遺跡の考古学 —古代・中世の梵鐘はどこで製作したのか—
2月9日（金）	地鎮・鎮壇の考古学Ⅰ —高野山発見の地鎮遺構をめぐって—
3月9日（金）	地鎮・鎮壇の考古学Ⅱ —松江城発見の祈祷札をめぐって—

展覧会等の開催支援

平成29年度『発掘された日本列島2017』展（文化庁受託事業）

文化庁（記念物課）と開催各館が主催する『発掘された日本列島』展に関する、展示品の貸借、展示プランの作成、展示パネル、キャプション等作成、展示品の点検・集荷、展示・撤収支援、展示品の返却のほか、開催予定館との連絡調整等の多岐にわたる開催支援業務を平成20年から実施している。

本年度は27遺跡約500点の資料を展示した。17件の遺跡の最新成果が展示されたほか、2つの特集展示が行われた。特集1では東日本大震災の復興事業に関わる発掘調査の成果として3遺跡の展示が、特集2では「発掘された水中遺跡」として7遺跡の展示が行われた。

入館者数についてはのべ206日間の開催で112,615人であった。

平成29年度開催館、開催期間および入館者数

東京都江戸東京博物館	平成29年 6月 3日～ 7月24日	85,879人
八戸市埋蔵文化財センター・是川縄文館	平成29年 8月 5日～ 9月18日	7,600人
三重県総合博物館	平成29年 9月30日～11月 5日	9,520人
安城市歴史博物館	平成29年11月18日～12月24日	3,228人
老岐市立一支国博物館	平成30年 1月13日～ 2月25日	6,388人

大阪大谷大学博物館（大阪府富田林市）秋季特別展「葉の宣伝 広告」展示支援
展示資料の梱包、輸送、展示作業を行なった。

元興寺文化財管理業務

世界遺産元興寺と所有文化財の管理指導として、境内環境の管理と、法輪館の展示管理業務等を行なった。

6. 報告書、書籍等の刊行

『元興寺文化財研究所研究報告2017』

—元興寺文化財研究所創立50年記念論集—』(1,500冊)

(公益財団法人 荏原 畠山文化財団助成事業)

平成23年度からは(公財)荏原^{えぼら} 畠山文化財団(元(公財)畠山文化財団)からの助成金を受けて刊行している。

『鎮物としての武器武具 —武器埋納祭祀の展開—』(1,000冊)

夏季企画展『鎮物としての武器武具—武器埋納祭祀の展開—』の図録を刊行した。

『文化財の 仕事一筋 半世紀』(1,300冊)

秋季特別展『文化財の 仕事一筋 半世紀』の図録を刊行した。

『平安京左京六条二坊十四町 烏丸綾小路遺跡』

平成28年に発掘調査を行った京都市平安京左京六条二坊十四町及び烏丸綾小路遺跡の発掘調査の内容をまとめた報告書を刊行した。

『藤原京右京十二条三坊・石川廃寺―平成28年度発掘調査報告書―』

平成28年に発掘調査を行った橿原市藤原京右京十二条三坊・石川廃寺の発掘調査の内容をまとめた報告書を刊行した。

『石川土城遺跡―平成28年度発掘調査報告書』

平成28年に発掘調査を行った橿原市石川土城遺跡の発掘調査の内容をまとめた報告書を刊行した。

『丸亀城跡発掘調査報告書―大手町地区第3次・第3次調査―』

平成18年に発掘調査を行った香川県丸亀市丸亀城跡大手町地区の第3次及び第4次の発掘調査の内容をまとめた報告書を刊行した。

7. 体験活動等

研究、調査成果を還元し、文化財保護の重要性に対する深い理解と関心を高めることを目的として実施する。

博物館実習 近畿大学 京都女子大学 奈良大学
中学生職場体験 奈良市立春日中学校 奈良市立平城西中学校
「博物館とコミュニティー開発コース」研修員受け入れ

国立民俗学博物館が国際協力機構（JICA）から委託を受け、研修員を受け入れ実施している博物館学総合研修「博物館とコミュニティー開発コース」のうち、「資料保存と修復」について担当し、トルコ共和国、バヌアツ共和国等5カ国から5名の参加者に対し実習を行った。

元興寺文化財研究所の実践文化財学（創立50周年事業）

―体験学習編―（参加者総数73人）

- 5月31日（水） 「古代の組紐技法を体験しませんか―基礎編―」
- 6月 7日（水） 「大福帳を仕立てよう」
- 7月21日（水） 「元興寺古瓦の拓本を採ってみよう」

―現地学習編―（参加者総数89人）

- 4月26日（水） 「歩いて学ぼう―ならまち北部編―」（荒天の為中止）
- 5月24日（水） 「歩いて学ぼう―ならまち中部編―」
- 6月14日（水） 「歩いて学ぼう―ならまち南部編―」
- 11月29日（水） 「歩いて学ぼう―ならまち北部編―」

施設見学会

総合文化財センター開所に伴い、施設の公開事業を本格的に開始した。

個人向け見学会は、8月30日(水)、9月20日(水)、12月20日(水)、1月24日(水)、2月14日(水)、3月7日(水)の6回と、秋季特別展開連企画として10月28日(土)・11月11日(土)の午前と午後に総合文化財センターの休日施設見学会を開催した。

計10回の参加者は71人となった。

その他、大谷大学、金沢大学、金沢美術工芸大学、関西大学、京都造形芸術大学、京都橘大学、甲南大学、東京藝術大学、東北芸術工科大学、式下中学、近畿管区警察局科学捜査研究所、奈良県建築士協会、大阪老人大学、等の団体の見学(総数588人)を受け入れた。

8. その他

平成29年度国庫補助事業について

平成29年度 国宝重要文化財等保存整備費補助金

事業の名称 県内埋蔵文化財 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業

実施期間 平成29年8月21日～平成30年1月30日

事業内容

平成25年度から改修を進めてきた総合文化財センターに関する整備事業として、文化財の保存処理で最も重要な内部の構造や状態を知るために3D情報を取得できるシステムである文化財用マイクロフォーカスX線CTシステムの導入を行った。納入業者は入札により(株)三ツワフロンテック(東芝ITコントロールシステム(株)代理店)に決定し、機器設置に伴う電気設備工事と改修工事を行いサマヤ館1階X線撮影室に設置した。

事業額	補助事業総額	66,420,000円
	国庫補助額	33,210,000円
	奈良県補助額	1,992,000円
	自己負担額	31,218,000円

導入機器

東芝ITコントロールシステム(株)製文化財用マイクロフォーカスX線CT
TOSCANNER-32300μFD-GCR

システム仕様(概要)

マイクロフォーカスX線発生装置(最高管電圧230kV、反射型、高照射線量率)

X線センサー(フラットパネルディテクタ(FPD))

システム用PCワークステーション

三次元画像処理専用ソフト